

浮世絵

ハンブルクコレクション展 初公開

日独交流150周年記念

COLLECTION FROM THE MKG HAMBURG

JAPAN'S FIRST EXHIBITION OF UKIYO-E COLLECTION OF THE MUSEUM FÜR KUNST UND GEWERBE HAMBURG

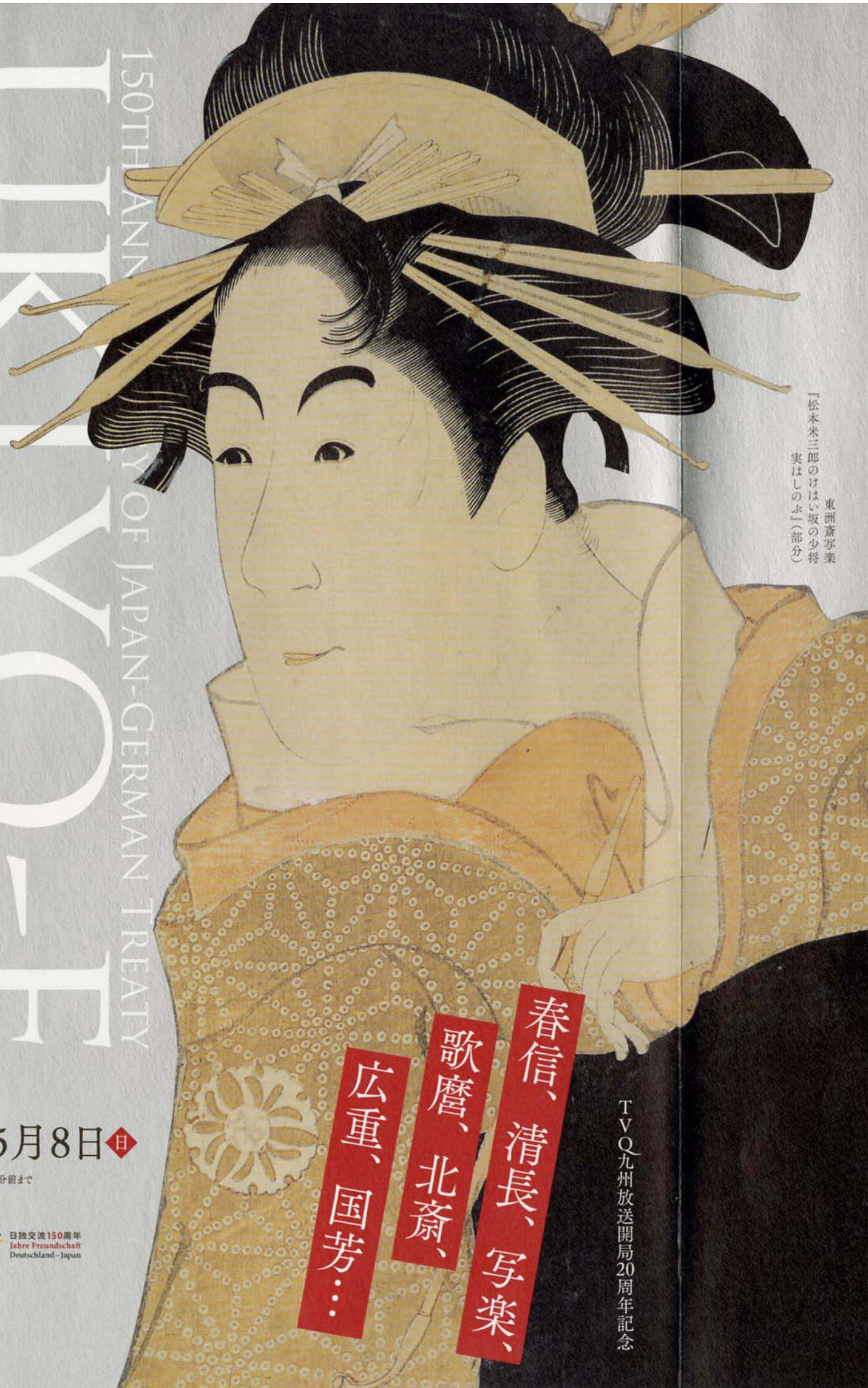
150TH ANNIVERSARY OF JAPAN-GERMAN TREATY

2011 平成23年 3月17日 木 — 5月8日 日

午前9時30分～午後5時30分 入館は閉館時間の30分前まで
月曜休館 3/21〔月・祝〕は開館し、3/22〔火〕は休館

MKG G MUSEUM FÜR KUNST UND GEWERBE HAMBURG

福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM



「松本米三郎のけはい坂の少将
実はしのぶ」(部分)
東洲斎写楽

春信、清長、写楽、
歌麿、北斎、
広重、国芳…

TVQ九州放送開局20周年記念

日独交流 150 周年記念 ハンブルク 浮世絵 コレクション展 ハンブルク美術工芸博物館の浮世絵を 初公開

2011 平成23年 3月17日 木 — 5月8日 日 ※会期中、作品の一部展示替えをいたします。

午前9時30分～午後5時30分 入館は閉館時間の30分前まで 月曜休館 3/21〔月・祝〕は開館し、3/22〔火〕は休館

観覧料：一般 1,300 (1,100) 円／高大生 800 (600) 円／小中生 500 (300) 円
※()内は前売り、20名以上の団体およびシルバー手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳提示者の割引料金。
【前売券販売】2011年1月8日(土)から3月16日(水)まで発売。ローソンチケット(Lコード82002)、チケットぴあ(Pコード764-482)、セブンイレブン(セブンコード008-354)、イープラス・ファミリーマート、JTB各支店、JTBトラベランド各店、JTB総合提携店、JR九州の駅みどりの窓口・駅旅行センター、JR九州旅行支店はか主要プレイガイドで発売。
※ローソンチケット、チケットぴあ、セブンイレブン、イープラス・ファミリーマート、JTB各支店、JTBトラベランド各店、JTB総合提携店については、展覧会開催中は当日料金での発売となります。

主催：福岡市美術館、ハンブルク美術工芸博物館、西日本新聞社、TVQ九州放送、日本経済新聞社

協賛：九州電力、味の明太子ふくや、福岡トヨペット

後援：大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、福岡県、福岡県教育委員会、(財)福岡市文化芸術振興財団、西日本リビング新聞社、cross fm、FM FUKUOKA、Love FM、福岡EU協会、西日本鉄道株式会社、(社)日本自動車連盟福岡支部、(社)福岡市タクシー協会、福岡商工会議所、(社)日本旅行業協会九州支部、西日本文化サークル連合、西日本新聞TNC文化サークル

関連イベント

【記念講演会】※聴講無料

①「『ハンブルク浮世絵コレクション』に見る浮世絵の魅力」
日時：3月18日(金) 14:00～15:30
講師：永田生慈氏(美術評論家・葛飾北斎美術館館長)
場所：福岡市美術館講堂

②「江戸の摺物・上方の摺物」
日時：4月2日(土) 14:00～15:30
講師：中野三敏氏(九州大学名誉教授)
場所：福岡市美術館講堂

【ワークショップ】※参加費無料。

「アダチ版画研究所による浮世絵版画の摺り実演会」
日時：3月27日(日) 〔午前〕10:30～、〔午後〕14:00～
場所：福岡市美術館実技講座室
定員：各回40名

《申し込み方法》

往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・参加希望イベント(ワークショップは午前・午後の希望を明記)、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申し込み下さい。いずれも定員になり次第締め切ります。はがき1枚につき1イベント2人までお申し込みいただけます。

《お問い合わせ・宛先》

〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1
西日本新聞イベントサービス内
「ハンブルク浮世絵コレクション展」イベント係
TEL:092-711-5491(平日10:00～17:00)

【交通案内】

地下鉄 ○空港線 福岡空港駅から15分、博多駅から10分、天神駅から5分で大濠公園駅下車、3番・6番出口より徒歩10分。○七隈線 天神南駅から8分で六本松駅下車、2番出口より徒歩10分。

西鉄バス ○JR博多駅から、博多バスターミナルより〔系統番号13〕で城内美術館東口下車、徒歩3分。○天神から、協和ビル前より〔系統番号13・140〕で城内美術館東口下車、徒歩3分、〔系統番号12〕で赤坂3丁目下車、徒歩5分。天神警固神社・三越前より〔系統番号6・7・113・114・200・201・202・203・204・205〕で赤坂3丁目下車、徒歩5分、〔系統番号6-1〕でNHK放送センター入口下車、徒歩3分。

車 ○福岡空港から30分、博多駅から20分、天神から10分。○駐車場(有料)に限りがあります。公共の交通機関をご利用ください。



福岡市美術館 FUKUOKA ART MUSEUM

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6 / TEL 092-714-6051 / <http://www.fukuoka-art-museum.jp/>

渡辺華山『お福』(部分) © MKG Hamburg



選りすぐりの名品

約200点

初公開！ドイツから、

世界有数の浮世絵コレクションが里帰り

一八七七年に開館したハンブルク美術工芸博物館は、中世から現代までの美術工芸品を集めたドイツでも有数の博物館として知られており、ヨーロッパの美術工芸を中心に百万点を超える収蔵品を擁しています。創立者であるユストゥス・プリンクマンは、林忠正やジークフリート・ビングらの協力を得て、今回紹介される浮世絵の名品を含む東アジアコレクションを収集しました。さらに近年、ハンブルクのコレクター、故ゲルハルト・シャック氏のコレクションが遺贈されました。シャック氏は生涯を浮世絵収集と研究にささげ、膨大なコレクションを築きあげました。その内容はこれまであまり知られていませんでしたが、今回の調査で有名絵師の作品はもちろん、数多くの摺物や、画稿、版下などの幅広い資料を含む、貴重なコレクションの全貌が明らかになりました。

本展では、五千点を超える同館所蔵の浮世絵の中から、ほとんどが初公開となる約二百点を選りすぐって展覧いたします。春信、歌麿、写楽、北斎、広重といった人気絵師たちの作品を揃えるのはもちろんのこと、個人的な贈答などのために、贅をこらして制作された稀少な「摺物」も必見です。さらに校合摺、版下絵、画稿、板木といった珍しい資料で、浮世絵制作の過程をたどることができます。名品を楽しみながら、浮世絵をもっと深く知るための絶好の機会をぜひお見逃しなく。

※会期中、作品の一部展示替えをいたします。

東洲斎写楽



『成田屋三辨』六代目市川團十郎の荒川太郎

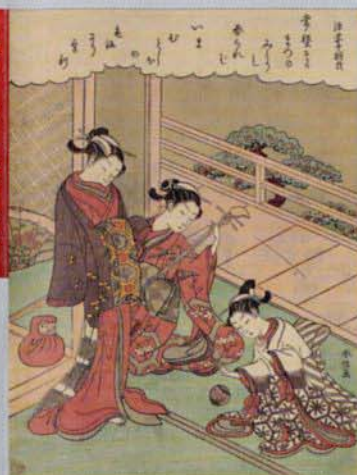
ゴッホも描いた「雨中の橋」

浮世絵が印象派の画家たちに大きな影響を与えたことはよく知られていますが、ゴッホと弟のテオも熱心な浮世絵コレクターでした。ゴッホが所蔵していた作品を模して描いた「雨中の橋」は、彼の代表作のひとつです。



『名所江戸百景 大はしあたけの夕立』

鈴木春信



『三十六歌仙「源宗于朝臣」』

魚屋北溪



『三十六禽 猫』
ゴッホ旧蔵摺物帖より
展示期間：4月5日(火)～4月24日(日)

歌川広重



『富嶽三十六景 東都駿台』

葛飾北斎



『富嶽三十六景 東都駿台(校合摺)』

鳥居清長



『大川端の夕涼』(部分)

最初一枚「校合摺」

絵師の下絵から造る最初の版で、輪郭線を摺り出したものを「校合摺」といいます。本来は絵師が色の指定をするためのもので、人の目に触れることはありませんでした。江戸のプロフェッショナルたちだけが知る、エッジのきいた線がここにあります。

猫大好き・国芳

天保の改革による役者絵の統制をかわすために、あえてイタズラ描きの表現をしたり、作品のなかで幕府を批判したりした歌川国芳は、江戸のヒーローでした。さらに、弟子が迷惑するほどの無類の猫好き。猫に噛みつかれても嬉しそうな美女は、国芳の分身！

歌川国芳



『荷宝蔵壁のむだ書』黄腰壁

喜多川歌麿



『美人子供行列』